

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校PTA
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	43人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	サッカーユニフォーム
使用学年及び人数	高等部1～3年生 スポーツ部員25人
使用頻度	月1回～2回程度
使用状況	主に、スポーツ部によるサッカーの対外試合で使用。 実践練習としてチーム内での試合形式時にも使用。
物品の使用による 変化や効果	試合の際に、ユニフォームを身に付けることで、「気合いが入る。」「モチベーションがあがる。」と生徒たちから喜びの声があがっており、意欲が高まった。また、ユニフォームを着ることで、チームとしての一体感が生まれ、声を掛け合い、とても良い雰囲気で行えている。 また、「着心地がとても良い。」と感想をもつ生徒が多く、最後まで全力を出してプレーできることにつながっていると考えられる。
今後の活用の 見通しや課題	新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、全員でユニフォームを着用して対外試合を行える機会を増やし、生徒の心技体の豊かな向上を図りたい。
その他 希望や所感など	ユニフォームを着用して、試合に参加することは、知的障害のある生徒にとって貴重な経験と考える。この経験が、生徒の部活動での思い出となり、卒業後もスポーツを続けることにつながると期待している。

## 2. 活用の様子

【試合での着用の様子】

